



第148号

# まつの社協だより

令和元年8月発行

編集・発行  
社会福祉法人  
松野町社会福祉協議会

〒798-2101  
北宇和郡松野町大字松丸1661-13  
TEL (0895) 42-0794  
FAX (0895) 20-5311

## みんなが暮らしやすいまちづくり



2年生のみなさんを対象とした福祉学習では、松野町が住みやすいまちになるよう一人ひとりができることを考えるため、まちに出かけて車いす・高齢者疑似体験をしました。

体験を通して、まちには様々な人が暮らしやすいように工夫してあることや、生活しづらいところもたくさんあることを感じていました。

目が見えにくい状態を体験して、表示物の色が見えたり見えにくかったりすることに気づき、みんなが見やすいようにするための改善策を考えたりしました。

また、「車いすを利用する人が使いやすいような道にすれば、みんなが使いやすくなる」という意見も出ていました。



いつもと違った視点で体験することによって、人や地域を知り、みんなの日常生活が幸せになるよう、自分たちにできることを考える機会となりました。



## 赤十字 手つなぎボランティア



域を大切にしている心や、協力することの重要性を感じていました。思いやりの心で地域にボランティアの輪を広げていきましょう。

松野東小学校のみなさんと松野町日赤奉仕団のみなさんが協力して、通学路の清掃活動をしました。草引きをしたり、落ち葉を掃き集めたりして、毎日登下校している通学路がきれいになりました。清掃活動の後は、みんなでゲーム大会をして交流を深めました。この活動を通して、自分たちの地



## 今こそ「つながり」が大切！

### ～南予地域ボランティア交流会～

南予地域のボランティアさんが西予市に集まって「南予地域ボランティア交流会」を開催しました。

この取り組みは、南予地域のボランティア団体の絆を深め、ヨコのつながりをつくることと、ボランティアの普及・啓発の推進を図ることを目的としています。松野町のボランティアさんも参加し、全体で約170名の参加がありました。



参加者同士のグループワークでは、他の市町のボランティア活動の情報を交換をしたり、活動の課題や取り組み方について意見交換しながら親睦を深め、市町の枠を超えたボランティア同士のつながりづくりの機会となりました。これからも、このつながりが広がって、新たなステキな活動に結びついていくといいですね。

# 困りごとを一緒に考えます



## お金・生活 に関すること

- 計画的にお金を使いたいけど...
- 借金を返済できない...
- 滞納・未納がある...
- 毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに自信がない...
- 通帳やハンコなど、どこに置いたか分からなくなる...
- 福祉サービスを利用したいけどどこに相談したらいいか分からない...



## 仕事 に関すること

- 仕事がなかなか続かなくて...
- 仕事を探しているけど見つからない...
- 仕事の探し方が分からない...



## 介護 に関すること

- どんな介護サービスがあるのか分からない...
- 退院して自宅で暮らすためにはどうしたらいいの？
- 介護用品は、どこで買えるのか分からない...
- ヘルパーさんでどんなことしてくれるの？
- お風呂に入るのが難しくなってきた...
- 介護の仕方に悩みがある...



ひとりで悩まずに  
まずはご相談ください。

## 地域活動 に関すること

- みんなで集まって何かしたい...
- 自分の得意なことを活かした活動をしたい...
- 話し相手が欲しい...
- 災害に備えて、地域でつながりづくりをしたい...
- いろんな世代の人とワイワイできる所ってないの？



# 新役員の紹介

6月に開催されました、理事会・評議員会において、任期満了による役員改選が行われ、新しい役員が決まりました。

## 会長 就任あいさつ



この度、六月二十六日の理事会において、会長に選任されました中森でございます。副会長とともども、宜しくお願い申し上げます。

微力ではございますが、地域福祉の推進、充実に向け、誠心誠意努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

さて、少子高齢化の進展、人間関係の希薄化など社会環境の変化とともに、多様で複雑化した暮らしを支えることは、家族や公的サービスだけでは、なかなか行き届かない現実があります。

本協議会は、住民主体の理念に基づき、身近な地域の福祉拠点として、「誰もが安心して、自分らしく生活できる福祉のまちづくり」を目指して、地域住民、行政、関係機関との協働により、民間の非営利法人ならではの取り組みを推進、充実していきたいと考えております。

本会が住民にとって身近な存在となれるよう、役員一同努めてまいりますので、今後とも本会のご活動に對しまして、あたたかいご支援、ご協力をお願い申し上げます。まして就任のご挨拶いたします。

## 理事・監事・評議員の紹介

任期	理事	監事	評議員
令和三年六月定時評議員会終結まで	<b>【理事】 12名</b> 井上 六廣 (区長会代表) 曾根 藤光 (民生児童委員協議会代表) 山石 恭助 (福祉ボランティア代表) 岩城 義治 (身障者福祉協議会代表) 山口 尊 (人権対策協議会代表) 関本 留美子 (人権擁護委員代表) 山口 利廣 (隣保館代表) 橋田 鶴美 (保育園長等の経験者) 上甲 力子 (宇和島福祉協会) 上本 恵子 (保健福祉課)	<b>【監事】 2名</b> 丸身 和男 (学識経験者)	<b>【評議員】 24名</b> 村尾 重利 (議会代表) 平野 耕右 (延野区代表) 山田 史郎 (豊岡後区代表) 毛利 達晴 (豊岡前区代表) 須田 正文 (富岡区代表) 濱田 章二 (上家地区代表) 竹内 義富 (目黒区代表) 安西 博文 (吉野区代表) 井上 忠 (蕨生区代表) 瀧本 精二 (奥野川区代表) 土居 偉 (商工会代表) 富山 哲 (保護司代表)
令和三年六月定時評議員会終結まで	後藤 真知子 (民生委員女性代表) 鶴本 好福 (老人クラブ連合会長) 毛利 正幸 (公民館の代表) 清水 洋二 (松野町中学校長会代表) 金谷 一 (教育委員の代表) 松田 莊一 (えひめ南農協松野支所長) 太場 克 (遺族会代表) 藤城 嘉志子 (母子寡婦福祉協議会会長) 岡 正司 (NPOまちづくり青年会議所代表) 芝 吉彦 (古城園施設長) 足利 睦 (フレンドまつ施設の施設長) 久保田 忠 (町民課長)		

(順不同 敬称略)

# 事業報告 決算報告

平成30年度の事業報告ならびに収支決算について、主な内容を報告します。

## 【法人運営事業】

- 会議・各種大会の開催 敬老式・戦没者追悼式の開催 少年の日を祝う会への助成
- 社協会費募集結果 総件数 1,157件 会費金額 1,191,000円
- 松野町老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会・遺族会の事務局として支援
- 日赤奉仕団の支援(会議・ボランティア等の支援) 母子寡婦福祉協議会(事業費支援)
- 日本赤十字社募金 社資募金額実績 620,000円

## 【地域福祉推進事業】

- 第1期地域福祉活動計画の推進  
「いまある支え合いを大切に自分たちでまちづくり」を基本理念とする、5カ年計画の2年目にあたり、周知・広報に重点的に取り組むとともに、各地区の活動支援を行った。
- 災害ボランティアセンターの設置・運営（平成30年7月12日～26日まで）  
7月豪雨災害により被災された住民ができるだけ早くふだんの生活に戻れるよう、困りごと等の相談・依頼を受け、ボランティアとの調整を行い、応急的な支援を行った。  
(ボランティア依頼件数：のべ101件 ボランティア活動者数：のべ307人)
- ボランティア活動の支援  
施設や団体等の要望により、ボランティアの仲介を行い、活動の拡張を図った。  
福祉ボランティアグループ総会開催、研修実施。朗読ボランティア「虹」の活動支援。  
見守り型給食サービスをボランティアと協働して実施。(年20回)
- 福祉教育の取り組み  
ふだんの暮らしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みなとともに幸せに暮らしていくために必要なことや出来る事を考えるきっかけづくりとして学校等と協働し取り組んだ。
- 生活支援体制整備事業  
町からの受託により生活支援コーディネーター業務を実施し、町内の商店やサービス業者へアンケートを実施し、高齢者の生活に役立つガイドブックを作成し、希望者へ配布した。
- 生活困窮者自立支援事業  
県からの受託により「暮らしの相談支援室」を開設。多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付けるとともに、家計相談支援事業も実施した。年間相談件数 109回
- 『福祉のつどい』の開催  
だれもが健康で、住み慣れた地域や家庭で安心・安全な生活を送る一助となるよう「福祉用具フェア」を開催し、福祉用具の体験・介護講座・健康チェック等を行った。
- ふれあい・いきいきサロンの支援（町内9グループ）  
情報交換、ふれあい、心身の健康づくりや生きがいづくりを目的とした住民主体の活動を支援した。また、サロン世話人相互の交流と、他町での地域活動の取り組みを学ぶため研修を開催した。
- 生きがい活動支援通所事業の実施  
おおむね65歳以上の方を対象に、介護予防と自立的生活が送れるよう、社会参加を推進し、健康講座や趣味の創作活動を支援した。(町内6会場、参加者60名)
- 子育て支援への取り組み  
子育て支援センター・日赤奉仕団と協働し、子育て世代の孤立防止や、世代間交流を行った。
- 心配ごと相談事業 実施回数 年間12回(内、弁護士相談2回/年) 年間相談件数 1件
- 成年後見人の実施 法定後見人として、被後見人の財産管理と身上監護を行った。
- 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 貸付実績 7件 3,143,000円
- 小口資金貸付事業 貸付実績 18件 321,000円 (30年度末貸付総額)

## 【在宅福祉サービスの推進事業 ～介護保険事業～】

- 居宅介護支援事業  
利用者のケアプランの作成や相談支援活動を行い、利用者が健康で安らかな在宅生活が送れるよう、また、家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。
- 訪問介護事業  
生活援助や身体介護を行い日常生活動作の改善や、生活の質を高める介護に努めた。
- 訪問入浴事業  
移動入浴車にて、寝たきりの高齢者の身体機能回復や清潔を保ち、在宅福祉向上に努めた。

## 【共同募金配分金事業】

- 平成30年度の募金実績 一般募金768,622円 歳末たすけあい308,200円
- 皆様からの温かい募金を財源に、下記のとおり活用させて頂きました。総事業費650,268円  
専門業者による遊具の点検と修繕。 112,320円  
母子父子家庭の児童・幼児を対象のクリスマスプレゼント事業。 78,620円  
地域福祉活動計画推進(10地区)、福祉学習に使用する備品の整備、中学卒業記念品、サロンやボランティア活動における助成。 459,328円
- 歳末たすけあい運動  
民生児童委員の協力により、町内外196名を対象に、見守りを兼ね訪問活動を実施。 308,200円

## 【まごころ銀行運営事業】

- 町民の方々の善意の寄付金を受付管理し、その健全な管理運営を行なうとともに、地域福祉活動や介護保険事業などへの活用を図った。

平成30年度の寄付受付状況

寄付目的	件数	金額(円)	割合(金額比%)
地域福祉事業へ	9	210,000円	13%
介護保険事業へ	3	60,000円	4%
法人へ一任	41	1,335,000円	83%
その他	0	0円	0%
合計	53	1,605,000円	100%

  

助成状況(公募)

No.	事業名	助成団体	助成額(円)
1	生活支援事業	目黒生活支援組織	91,000円
2	施設整備事業	奥野川地区	200,000円

  

社協事業での活用

No.	事業名	内容	活用額(円)
1	地域福祉事業	車両購入費など	397,000円
2	介護保険事業	活動事務費など	203,000円
合計			600,000円

## 【収支決算】

